

■福岡/行橋市の実施報告

「金融経済教育公開授業 in 福岡（行橋市）（泉中学校）」（10月30日開催）

泉中学校は、生徒数 396 名（特別支援学級を含む 17 学級）の学校です。学校教育目標には「創造的な知性と心豊かな感性をもち、心身ともに逞しい生徒の育成」を掲げ、日々の学習・学校行事や部活動等に取り組んでいます。また学習面においては、ICT を活用した教育活動が完全に定着した状態になっており、個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて尽力しているところです。

教職員・生徒一丸となり、保護者の方々や地域の方々の力をお借りしながら「信頼される学校づくり」を目指しています。

10月30日（木）に金融経済教育公開授業を開催し、2年生を対象に公開授業と、梶原真紀氏による講演会を行いました。

▼ 参加者内訳：

本校教員 30 名、教育委員会 4 名、他校教員 19 名、地域の方 2 名

合計 55 名

1. 公開授業

(1) お金に関わる職業について調べよう

「お金に関わる職業について調べよう」と題して、日本銀行、銀行、保険会社、税務署、店舗の 5 つの職業に関して調べたことを発表する授業を行いました。生徒は、実際にゲストティーチャーから話を聞き、仕事内容とその職業のお金との関わりについてわかりやすくまとめました。

また、2つの教室を用いることで、多くの生徒が主体的に活動に参加することができました。生徒は、本授業を通して、どの職業に対しても上記の職業が関わっていることに気づき、将来に向けて自分の課題について考えることができました。

2. 研究発表

金融経済教育研究校の指定を受け、研究主題を「深い学びを創り出す生徒の育成」とし、金融教育の研究に取り組んできました。

本校では、全教科での金融教育に加え、金融教育における「D: キャリア教育に関する分野」に重点を置いて取り組みを行ってきました。具体的には、1年生ではアントレプレナーシップ教育、2年生では社会と関わる職業学習、3年生では将来を見据えた進路学習を行いました。

本年度校内研修として、授業研修を行いました。1年生のアントレプレナーシップ教育の授業では、行橋市全体で活用しているビジネスモデルゲームを通して、ビジネスの仕組みや企業の価値提供について学ぶことができました。また、3年生の家庭科では、

金銭管理の工夫について授業を行いました。模擬家族を想定し、家計の状況や今後の予定を踏まえながら、何をどのような支払方法で購入するかについて話し合う活動を取り入れました。生徒は、計画的な金銭管理の必要性を感じ、具体的な金銭管理の方法を考えることができました。

3. プログラム

- 13：40～14：30 公開授業
「お金に関わる職業について調べよう」（2年生 総合的な学習）
- 14：40～15：10 開会行事・研究構想
開催校あいさつ：行橋市立泉中学校 校長 福羽 延生
来賓あいさつ：行橋市教育委員会 教育長 山田 英俊
研究構想：行橋市立泉中学校 研究主任 大小田洋介
- 15：15～16：15 講演
演題「『お金に関する知識や判断力』が必要なワケ」
講師：梶原 真紀 氏
- 16：15～16：25 閉会行事
主催者あいさつ：福岡県金融広報委員会 事務局長 内田 清博

以 上